



「子ども市議会」 が開催されました

2月2日、市役所議場で子ども市議会（主催：市ふるさとづくり推進協議会）が開催され、市内の6小学校から11人の6年生が「子ども市議会議員」として、様々な問題等について一般質問を行いました。子ども市議会での質問と回答の一部をご紹介します。



<赤崎小学校>

田平 凌大さん
縄田 美蘭さん

《質問》

「安心して運動ができるよう赤崎運動広場に電灯を設置してほしい」

《回答》

小学生のみなさんは、校外のみなさんで、夏は午後6時まで、冬は5時まで家に帰らなければなりません。その時間であれば特に灯りは必要ないと考えています。



<厚狭小学校>

重村 一海さん
金山 結美佳さん

《質問》

「災害現場の後片付けや被災された方の心のケアなどをするハートボランティア隊をつくってほしい」

《回答》

今回体験した災害ボランティア支援活動のノウハウや反省点を踏まえ、被災者が1日でも早く立ち直れることができるような体制作りをめめます。



<高千帆小学校>

岡山 祐一郎さん
山崎 梨子さん

《質問》

「私たちが考える『命をお互いに守りあうことのできる社会』についての考えを聞かせてほしい」

《回答》

一人ひとりが考え、協力し合い“自助・共助・公助”の連携のとれる災害に強い社会を実現していきましょう。



<小野田小学校>

齋藤 稜さん
村嶋 百々佳さん

《質問》

「障がいについて正しく理解できる講座を企画してほしい」

《回答》

現在、障がい体験学習や勉強会を社会福祉協議会で行っています。ご提案を学校へ伝えて、車いすやアイマスクの体験学習を行い、障がいの理解を深めていただきたいと思います。



<出合小学校>

澤重 美和さん
矢田 陽祐さん

《質問》

「お年寄り使いやすいように、きらら交流館のトイレに手すりを付けてほしい」

《回答》

人にやさしいユニバーサルデザインの推進は、大切なことです。できるだけ早く手すりを付けて、誰もが心地良く利用できるようにしたいと思います。



<津布田小学校>

中本 樹里さん

《質問》

「中学校区を超えたクラブ活動の参加を認めてほしい」

《回答》

中学校のクラブ活動は、一定の条件の下で合同チームを可能とする種目もありますが、活動時間の制約や安全等の問題もあり、現実的には難しい状況です。